平成28年度

株式会社和歌山トムソン

新型グルアーを導入し商品価値を高める形状の紙器をデザインする取り組み



補助事業

「貼り加工」の精度・スピード・強度を高めて お客様の商品価値を高めるパッケージデザインを提案

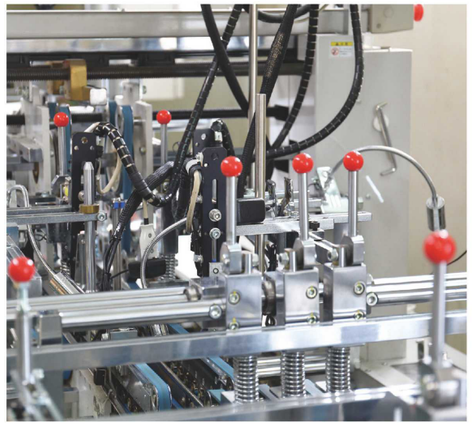
「トムソン」とは打ち抜き加工のことで、印刷したパッケージ用の厚紙を紙器の展開図の形に抜いていく加工法である。同社は昭和38年からトムソン加工で、さまざまな商品の紙器を提供。和歌山を中心に、大阪や奈良など約300社と取り引きがあり、梅干しやお菓子、お土産、お酒等のパッケージを担当している。強みは、商品開発の段階からパッケージのデザイン提案やサンプル作成に関わっている点。お客様の商品価値を高めるパッケージデザインの提案を心がけるとともに、製作では印刷の版まで一連でつくることができ、印刷の刷り以外を内製化することで、短納期のニーズにも応えることができる。

ただ課題となっていたのが、最後の工程になる「貼り加工」の精度・スピード・強度の問題である。保有している梱包用の型紙を製造する機械「グルアー」が、30年前に導入した古いものであり、顧客の要求に応えることが難しくなっていた。加工スピードの遅さに加え、糊付けの甘さからズレや商品を入れた時の底抜けが発生した。出荷前に抜き取り検査を行うも、年間3～4件の客先不良が報告されていた。この場合、納入した製品を持ち帰り、全品検査をする必要があるので、同社にとっても大きなロスがあった。なにより顧客との信頼関係が損なわれ、客離れの原因にもなっていた。また社内で不良を発見しても、印刷工程からやり直す必要があり、納期面で遅れてしまうケースもあった。納期に余裕がある場合は、外注に出すこともあるが、納期と輸送等のコスト面で大きな負担となっていた。今回これらの課題を解決するため、同事業の活用を検討し、新型グルアーの導入を決めた。

成　　果

スピードと強度、型紙の対応力 いずれも十分で不良品もほぼゼロ

導入したのは、独自のオプションを施したサンエンヂニアリング製の「ストレートグルアー BL650II」。デザイン性の高い型紙にも対応し、強度のあるパッケージの貼り加工をスピーディーに行うことができる。加工スピードは、1時間当たり従来3000枚が6000枚と、大幅に向上。加えて、プラズマ装置で糊しろの濡れ性を高めた上で、接着面を確実に押さえるため、十分な強度に仕上がった。さらに以前なら30×30cmの大きさの貼り加工までしかできなかったが、15×15cmの小さな貼り加工も可能となり、幅が広がったことも大きな利点だ。不良品をカメラと上糊検査装置で自動検出することにより、客先に不良品が届く可能性もほぼゼロに。ただグルアー自体の大きさは、スピードと強度を優先したライン設計のため、前機と同程度のスペースが必要になった。



今後の展開

アフターコロナを見越して 強みを強化し新規顧客にPR

観光客の減少など、コロナの影響を大きく受けた観光業。当然、お土産等のパッケージ発注も減少傾向にある。今後、アフターコロナの動きも見越した準備を検討している。貼り加工自体は、それほど大きな売り上げに繋がらないが、コスト削減には効果大。外注加工費をカットしつつ、さまざまな貼り加工にチャレンジしていくことで、強みである独創的で魅力的な商品パッケージが提案できる。有名ホテルなどブランド力の高い顧客にアプローチし、営業を強化することで新たな受注に繋げていく。



会社紹介

経験とノウハウを生かしお客様の要望を形に 役割と可能性を広げたソリューションを提案します



「包む」、「装う」、「運ぶ」それがパッケージの役割。当社は、積み重ねた経験とノウハウを梱包設計に生かし、300社を超えるお客様から受注をいただいています。メインは食品関係。受注単位は500枚の小ロットから、10万枚以上の大きなロットまで対応しています。商品の特性や形状、重量、そして生産ラインや輸送条件などを考慮し、役割と可能性を限りなく広げたソリューションを提案しています。

株式会社和歌山トムソン

代表者：代表取締役社長　西本達哉
設　立：昭和38年
資本金：1000万円
従業員：20名
業　種：印刷・トムソン紙器・パッケージデザイン

所在地：和歌山市和歌浦東3丁目3-8
ＴＥＬ：073-444-0965
ＦＡＸ：073-446-2870
E-MAIL：t-nishimoto@tomuson.com
ＵＲＬ：http://www.tomuson.com/